

令和4年度 第1回 光が丘中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月16日（月） 午後1時30分から3時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰  
小澤 房世、黒川 高明
- 4 欠席委員 鈴木はるみ、坂井 久司
- 5 学 校 鈴木 靖（校長）、古橋 康浩（教頭）、横山貴美恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし

10 協議事項

- （1）会長の選出及び副会長の指名について
- （2）議長の選出について
- （3）光が丘中学校運営基本方針について
- （4）地域による学校への支援について
- （5）夢育やらまいか事業に対する意見書について

10 会議録作成者 校務アシスタント 横山 貴美恵

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、松井委員から甘蔗委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された甘蔗委員から、松井委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、松井委員からの輪順との発言があり、会長、副会長、学校支援CDを除く委員で輪順とする意見が交わされた。協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

本日は、青山委員が議長を務めることとなった。

（3）光が丘中学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料（7頁）に基づき、学校運営基本方針について説明があった。

校 訓：試す人、信頼される人、夢ある人

学校教育目標：未来を拓く、たくましい生徒の育成

学校経営目標：キャリア教育を踏まえて、地域と連携し、社会的・職業的な自立の基盤となる能力や態度を育成する。

目指す生徒像：

- ・ 確かな学力を身に着け、夢を持ち、何事にも挑戦できる子。
- ・ 知識だけの教育ではなく、変化の激しい社会で対応できる能力を育む。
- ・ 主体的に学ぶ子。
- ・ 温かな心や礼節を大切にし、仲間と協力し、ともに成長できる子。
- ・ 周りへの配慮のできる子。
- ・ 自ら心身の健康に気を配り、健全に生活できる子。

目指す教師像：

- ・ 生徒の成長を使命に感じ、生徒や保護者に温かく寄り添う。
- ・ 生徒の手本となるよう向上心を持ち、日々成長する。
- ・ それぞれの良さを生かし、組織のなかで活躍する。
- ・ オン(職務専念)とオフ(余暇活用)を意図的に切り替える。

経営の重点：

- ・ 一枚岩の生徒指導体制
- ・ 確かな学力に向けての授業改善
- ・ キャリア発達に向けての指導充実  
各々の生徒について、育てたい力を明確にし、キャリア教育をする。
- ・ 教育環境整備  
様々な問題を抱えた生徒達に、どのように寄り添うか、常に考慮し適切に対応する。
- ・ 地域に開かれた学校づくり

授業参観や校長の説明を基に、委員からは、以下の発言があった。

- ・ AI時代、地域とともに子供たちをどう育てるか。(笹竹委員)
- ・ グランドデザインを基に説明いただいた内容が分かりやすかった。生徒はいい雰囲気  
気で授業が進められていたと感じた。(溝口委員)
- ・ 校長先生の教育に向けた熱い思いが感じられる説明だった。生徒もまじめに授業を  
受けられる環境だと感じた。(甘蔗委員)
- ・ 普段から校長の丁寧な対応を観ており、安心しているが、より一層中学のCSが何  
をするのか協議していきたい。(甘蔗委員)
- ・ 生徒に問題が無いこと程いいことはないと思う。CSを始めることにより地域一丸  
となって進めていきたい。(小澤委員)
- ・ 企業で言うところの、「人を大切にする」を理念とすると時間がかかる。同様に生徒

像・教師像を理念として進めることは時間がかかる。家庭にも浸透していけるよう発信が必要となる。(黒川委員)

- ・ 今後の社会に対応できる教育方針について理解できる。自身が校長時代に生徒たちを職業体験させたことがあった。このことから、生徒たちがこういった体験することは必要と感じた。(青山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 地域による学校への支援について

議長の指示により、コーディネーターの笹竹委員から、別紙資料(8頁)に基づき、学校に必要な支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 中学校のCSについて具体的なイメージとは。(松井委員)
- ・ 例えば、地域を知る、愛着を持つことを目的とするのか、キャリア教育を目的とするのか等、CSとして何を目的とするか決めることが大切では。(教育総務課)
- ・ 地域のことを調べることは、あらゆる学問に通じる。また活動について役割分担をすることも必要では。(青山委員)
- ・ 地域活用として、先生方の働き方改革とも相まって、「先生も週末は家庭に」と言われるが部活の試合があれば指導に出ざるを得ない。地域の指導者を開拓してうまく使えば地域人材活用として有効では。(黒川委員)
- ・ 自身の中学生の頃、世の中にどのくらいの職業があるのか分かっていなかった。それを知ること、そういう場があることが子供たちに必要。(黒川委員)
- ・ 職業体験の職業を選ぶ際は、子供たちの意見を聞くのもいいのでは。(溝口委員)
- ・ 地元根付いた産業(林業など)や体験しやすい介護等、地域で必要とされている職業について知ってほしい。(小澤委員)
- ・ 得意分野を収集した、人材バンクのようなものを作ったほうがいいのでは。(笹竹委員)

#### (5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料(10頁)に基づき、夢育やらまいか事業について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### 【その他報告事項等】

- ・ 教頭から、会議の様子の写真撮影および学校ホームページ等への掲載について了承頂く旨の説明があり、委員から同意書の提出があった。
- ・ 校長から、本年度からの本校勤務職員の紹介、新入学生の紹介、給食費の集金方法変更について説明があった。
- ・ 教育総務課より、学校運営協議会について資料(3頁)を基に説明があった。
- ・ 委員に向けた、口座登録、マイナンバー確認などの提出書類について説明があった。

司会から、次回会議は、令和4年10月17日（月）午後1時30分から会議室で開催する旨の説明があった。

午後3時10分頃協議会終了。